

## 令和3年度六戸町総合教育会議議事録

期 日 令和3年9月24日（金）午前10時00分

場 所 六戸町文化ホール 視聴覚室

案件議事 六戸町の児童・生徒の将来推計について  
新たな学校建設に係る基本構想（案）について

開会時刻 午前10時00分

閉会時刻 午前11時30分

出席者の氏名

町 長 吉田 豊

副 町 長 下田正幸

教 育 委 員 吉田尚子、山本晃広、下田 勝、保土沢まり

町内小・中学校校長 山内亮悦、三上菜穂子、畑山ゆかり、秋元辰一、見友健二

総 務 課 長 円子富浩

企画財政課長 小林 章

欠席者の氏名

六戸町立小・中学校最適化基本計画策定審議会 篠塚明彦 長谷川光治

説明のために出席した者の氏名

教 育 長 瀧口孝之

教 育 課 長 長谷 智

指 導 室 長 二ツ森牧彦

教育課課長補佐 木村朝子、佐々木和仁

## 会 議 録

### 町長あいさつ

(町長)

今年度第1回目の総合教育会議を開催させていただきたいと思います。

まず、先の第5回六戸町議会定例会において、下田教育委員が町議会で任命同意をいただき、令和3年9月14日に教育委員会委員として再任され、このたび就任していただきました。

任期は、令和7年9月13日までの4年間でございます。引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

下田委員が再任となりまして、教育委員の構成は以前と同じでございますが、本日は、学校現場を統括しております校長先生方からご意見を頂戴いたしたく委員として、ご出席されておりますので、総合教育会議について少しお話しさせていただきます。

総合教育会議は、平成27年度に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正があり、町長と教育委員が教育行政についての協議・調整をするための合議体として設けられたもので、今年で7年目を迎えているところです。

さて教育を取り巻く環境は、日々して変化しており、様々な課題がございます。

新型コロナウイルス感染症防止をはじめ、ICT教育やGIGA(ギガ)スクール構想への対応、35人学級への移行の課題が教育関係に山積(さんせき)している状況であります。

また、今年1月に中央教育審議会が出された答申の中で、義務教育期間の9年間を見通した義務教育の在り方、特に小学校の高学年から教科担任制の導入という動きも出てきております。

さらには、教員の方から見ますと、働き方改革や補習等における指導員の派遣の問題など様々な課題があります。国や青森県がどのような対応をするのか、それに伴い市町村がどのように対応していくかといったことが、これからの課題ではないかと思っております。

この総合教育会議を通して、私(町長)と教育委員会が共通認識を持ち、様々な課題に対応したいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げたいと思ひます。

本日の案件は、皆様も報道や会議等でご存じのことかと思ひますが、六戸町が昨年度から進めております「新しい学校の在り方」に係る「新しい学校建設の基本構想」となります。

委員の皆様には、気が付いた点など自由に活発なご意見をお願ひ申し上げたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 議 事

#### 六戸町の児童・生徒の将来推計について

(教育課長 説明)

#### 新たな学校建設に係る基本構想(案)について

(委託業者(※RAB開発)による説明)

(教育課長 補足説明あり)

以上、簡潔な内容でしたが、説明を終わります。ありがとうございました。

### 質疑応答

(教育課長)

ここからは質疑となります。よろしくお願ひします。

(秋元委員)

躯体関係で言いますと、児童生徒数が多くなるということは家庭数も多くなる。そうすると駐車スペースも十分確保できるという構想でしょうか。

(教育課長)

「何台」とは決めていませんが、相当なスペースが必要であると認識しています。代替えですが、運動公園側に砂利の駐車場もあります。その辺も考えて整備すればいいのではと考

えます。

(秋元委員)

教室の話ですが、中学校の生徒数も3クラスが3つの学年になります。分け方は別として、この構想でいくと、理科室は1つのようです。この規模からいくと授業数を考えても、中学校だけでも理科室2つは必要だと思います。

(教育課長)

具体的に、授業は重複することはあるのでしょうか。例えば9学年1組2組がそれぞれ理科室を使用するなど。

(見友委員)

そうですね。理科室は2つあったほうがいいと思います。

(教育課長)

小学校も含めて、でしょうか。

(見友委員)

小学校もそうですね。

(教育課長)

理科室だけではないですよ。特別教室もそれぞれに2つずつは持たないと、授業に差支えがあるということでしょうか。

(見友委員)

そうです。

(教育課長)

間取りも含めて、こういう設備があったらいいなと思うものがあれば計画に組み込みやすいと思います。

(見友委員)

教室の間取りは。

(教育課長)

8.5m×8.5mです。この間取りは補助基準になります。これ以上広げる場合は、町の単独事業になります。

(見友委員)

その学級に何人の生徒が入るのでしょうか。35…最大で40人は入りますか。

(教育課長)

40人は想定していません。以前は8mでした。補助基準が変わり、8.5mになりました。ただ、今後は机が大きくなるので、狭いのは狭いと思います。

(秋元委員)

机の大きさはどのくらいでしょうか。

(教育課長)

表のどこかに記載していたかと思いましたが、新JIS規格というのが出ているかと思いません。その大きさを今は計算しています。

(秋元委員)

机が広くなると、8.5m×8.5mの教室も狭くなる…。

(教育課長)

「広くなる」とはならないと思います。机が大きくなっていますので。

(見友委員)

東側に学級が並ぶことになるとと思いますが、日照時間は何分になりますか。たぶん45度もないような気がします。そうすると朝は日が当たるのでいいですが、午前中の昼近くには廊下側は日が入らないのではないのでしょうか。朝の何時間かしか日が当たらない。なので、この東側の教室は何となく暗いのではないのかなという気がしますね。

(三上委員)

きっと素敵な良い図書館が、町民も利用できる、そんな図書館が出来上がると思います。図書館は校舎の3階にあって、子ども達が使う可能性のある時間帯も解放するのか。まだそこまで決まっていないと思いますが、休みの日に町民に使ってもらうのか。もう一つ、なかよし会というか児童館ですが、上北の学校は校舎の中に組み込まれています。敷地内に別棟で後付けで建っている学校さんもある。どこかに書いてあったら申し訳ありません。児童館は土曜日もやっていますので無条件で解放できる…。

(畑山委員)

管理についてなんです、体育館の位置について。体育館も解放するというお考えのようですが、これも同じように校舎内にある、と。何か大会があるときに学校管理者も来なければいけないこととなりますので、別で管理できるような場所に。端とか別棟にしてもらえばいいのかなと思います。もう一つ、体育館は全体的に小学校の所が小さいのですが、初期・中期・後期に分かれた場合に、どのように分けて使うのかなと迷う所があるので、その辺が図面にも「初期・中期・後期」と書いてもらえれば非常に分かりやすのかなと思いました。あと、中庭についてですが、基本的に小学校的には使わないのかなと思います。十和田市のある小・中学校にも中庭があるんですが、聞いたところ、ほとんど使ったことがないとのことでした。まず、職員室からは見えない。それから靴箱から靴を持って行く、そこで履き替えなければいけない。靴を置く場所もないのでほとんど使われていないということでしたので、これも再考が必要かなと考えます。以上です。

(秋元委員)

今の、大曲小学校長の先生の話と重複するかもしれませんが、新しい義務教育学校は、避難場所になるのでしょうか。それによっては管理の問題や場所とか多少影響するのかなと思います。

(教育課長)

それは間違いなく付随すると考えます。今、町内の学校は全て避難場所になっていますので。避難するかどうかはさておいて、指定避難場所にはなると思います。

(秋元委員)

まず、町民を避難させる場所としては格好の場所になる訳ですよ。高台にあって、環境的にも位置的にも、アクセスの面でも。他の旧校舎と言うのでしょうか、なくなる学校に分散させると防災の施しに分散化が起こると言いますか…。そこはコミュニティースクールと言うことで、私は管理は学校も一緒になってやるという考え方でないとこれからは運営できないのかなと思います。

まだ設備の話にいかないのかもしれませんが、町民にも行き来のできる学校という構想が少しでもあるのならば、多目的に使用できるトイレですとか、そういった事柄にも設備上割かなければならないのかなと思います。

(教育課長)

これは全然決まっている訳ではありません。ただのプランです。

(見友委員)

職員室まで100mほど移動することになります。100mとなりますとなかなか…。

(秋元委員)

新しい学校とかですと、各学年棟と言いますか、棟ごとに学年職員室というのがありますね。そう言うのが…。

別件です。各教室の規格は先ほどの話題を踏襲してお考えいただければと思いますが、特別教室に関してはその教科の特質によっては、広さがそれぞれ皆同じ規格だと使いづらいということが出てくるのかなと。例えば音楽室なんかですと広い空間とか。準備室等で言うと、音楽準備室には楽器等を置くということ踏まえたと、今の普通教室ぐらいの大きさがな

いと七百さんとうちの学級を合わせたものが格納できる場所がほしいなど。各教室の特質で大きさを精査していただきたい。

(教育課長)

ランチルームの考え方はいかがですか。

(畑山委員)

どこかに書いてあったらすみません。給食室とランチルームの違いというか。たぶん給食室は生徒がみんな集まって食べる、ランチルームは…というイメージでしょうか。

(RAB 開発)

給食室という名前が…。いわば「調理室」です。

イメージはこれが厨房。で、ここで何班かに分けて食べる場所、なのかな。

(教育課長)

六戸は給食センターが十和田にあるので、作ることはないんですよ。

(畑山委員)

そうなんですな。

(三上委員)

わかりました。では、その給食室を「ランチルーム」にすればどうでしょう。そうするとランチルームが空きますよね。濃いピンクのところとか。それで話が飛びますが、職員室の向きができれば長い方の面がグラウンドに向いていれば…。

(教育課長)

図書館の件は、今は3階ですが、展望という点で一般の方が使うのであれば、というコンセプトですけれども、管理上であれば1階で入口を分けてというのが一般だと思いますので、そこは考え直します。なかよし会のほうは、今ある施設に子ども達を帰して、地域の人達が迎えに来るというスタンスはそのまま続けたいと思いますので、この学校に新規に建てるという話はまだまだ先になると思います。その話はまだ何も考えていません。六戸小学校の学童保育所もだいぶ年数が経っているのは分かっています。ただ、令和7年度のスタート時点では子ども達は地域に同じように帰して、そこに保護者が迎えに来てもらうという流れは続けていきたいと思っています。

(秋元委員)

私共の学校では、4日間かけて先生方から施設、設備、備品等について意見を募りました。後ほどお渡ししたいと思います。今日この場で話すのは限られるので。体育施設または教育学習関係の施設としてご提案が。例えば体育館の活用は見込まれますけれども、集会活動等でステージのような講堂スペースと職員室を行き来できるような、そういう施設ができればうれしいなと思います。県内でもそういう施設を保有している学校もありますので。…は六戸高校にはありましたが、そういった施設を設置する考えはありますか。

(教育課長)

新しくですか。

(秋元委員)

あそこにある施設は全て取り壊さなければならないのですか。

(教育課長)

野球場にある屋内施設はそのまま残す予定です。

(秋元委員)

活用できるということですか。

(教育課長)

ただ、専門家に見てもらくと、多少老朽化もあるので補修は必要になると思います。屋内施設は保護者会で建てていると聞いていますので、壊す、使うというのはこれからの協議となります。残す予定ではあります。

(秋元委員)

体育施設もですね、「これからの部活動のあり方」という指針が文科省から出ていて、これに完全に乗る形を取れば、本町は非常に体育施設が豊富だし、近くに総合運動公園や総合体育館もあるから、学校の教育活動と部活動を切り離して、ゆくゆくは専門家が指導する。我々が時間外で行動する部活動を地域に帰して、先生方がそのまま顧問という形ではなくコーチとしてお手当を頂戴するくらいの指導に変わっていければ。別に学校の敷地の中にいろんな体育施設や運動競技場にする必要はないのかなと思います。部活動のあり方について、何か構想はありますか。

一つの意見として、私はこの機会に、部活動は地域と専門の得意な先生とで学校の教育活動という枠から外れて指導していくというか。学校職員と地域の方と一緒にやっていくというのがいいのではないかと思います。

(町長)

先ほどのご意見に私は賛成なんですけど、社会がどういう風に捉えるかというところですよ。ついてこれないのではないかみたいなどころがあって。本来はそんなことはないと感じています。学校の周りにあれこれという施設を高い金をかけて作っている、すぐそばに施設があって活用できる訳ですから、そういう風になればいいのですが、おそらく日本人の思い込みの概念からいくと、変わっていけないのではと思います。将来においてそのようになったら、いろんな運動場やみんなですんだ部分を別の場所に替えてでもやっていけばいいのかなと思います。今、現段階はなかなかこっから切り離しますというのは言いにくい、または保護者も馴染んでくれない要素もまだあるのかなと。ただ、子ども達にとって一つあります。部活の関係でスクールバス対応となりますと、やっぱり今までのようなことでは困る、というのがあります。はっきりとけじめをつけていないといけません。今やっている中学校の部活動もそれぞれのもの、というのもいかなものかと。それぞれの都合に合わせられませんよと。ただどうしてもやるのであれば、保護者なりそれなりの方が対応してもらわないといけませんというのが必然的になります。今おっしゃった意見をみんなで考えることになっていくのではないかと思います。まさにおっしゃる通りだと思います。

(山本委員)

エコな学校づくりという観点から。ソーラー発電やエネルギーの自立という面での考えはあるか。

(教育課長)

ソーラーも地熱もやろうと思えばやれます。ただ、コストや最初の設備投資も含めて、本当に必要なものを限定すればいいのかなと思います。今時点では、地熱を使った暖房と掘って出ればですが、エアコンの空調はどうかと考えてはいます。まだ見に行っていないですが、上北地方の小学校は地熱を使った空調を、一年中同じ気温で全館保っているそうです。

(山本委員)

一般住宅でも最近そういうのが出てきていますよね。

(教育課長)

初期投資は結構かかりますけれども、ランニングコストはこういう機械的な空調を入れるよりかはずっと安く上がるのが示されています。

(山本委員)

芝生化という学校があり、良い悪いがあると思いますが考えはありますか。

(教育課長)

今は考えていません。宮城県に行くと、土ほこりが舞うという観点から人工芝のグラウンドに整備されてきています。ただ、住宅地でもないのに土でも良いのではないかと考えています。

(秋元委員)

ABCDのプランのうち、取り掛かりやすいのではないかと感じました。でも、AかBかCかによって、コストがだいぶ違うのではないかとと思うのですが。グラウンドをもう一回という、数億円の調整費かかると思うのですが。

(RAB 開発)

A案とB案はちゃんと測量するなり…

(秋元委員)

C案のほうが調査が多くなりますよね。もともと建っていない所に建てる訳だから。ボーリング調査して、耐震や地盤などを調べて…。

(RAB 開発)

何メートルのトラックになるのでしょうか。現状のトラックの距離がいくらかも分からないと…。いずれにしても今のまま使うというのは、ある程度整備しないと使いづらいのではないかと思います。

(秋元委員)

今現存の競技場のトラックは400mでしょうか。

(教育長)

高校は300mです。

(見友委員)

1階にまとまった所にあったほうがいろいろと対応しやすいと思います。ただ、近年、教育課程に行く生徒が多いことを考えると、その距離まで若干あるなど。

(秋元委員)

同じ考えです。やはり1階じゃないと、上階に行くと危険性が高いので。窓から飛び降りたりするという子どももいるかも。どこの学校も大体1階にまとめるを得ない。あとは、通級というか協力学級の方で授業を受け入れるという機会があれば、その時間はずっとそこにいるので行き来は大変かもしれませんが、カバーはできる。

(畑山委員)

特別学級のお子さんはうるさい音とか。…各階の端っことかが私はいいいと思います。

(教育長)

さっき見友先生がおっしゃった、クールダウンさせる場所ということでもいいですか。

(秋元委員)

保健室にも、現中学校3年生でもおねしょをする生徒がいたそうです。みんな保健室に行って着替えさせてシャワー浴びさせてというよりは、特別支援学級があるうちの教室と教室の間にシャワールームがあって着替えさせるとかあればいいなと思います。

(畑山委員)

一人きりになれる個室のような場所がありますか。

(三上委員)

例えば、Aプランの1階の平面図の赤い所に1番から6番まで教室を設置していただいている。そこはたぶん通常の特別支援学級の2人から8人までのそれぞれが「知」が2つだったり、「情緒」が3つだったり、最後が「肢」だったり、普通の特別の学級で埋まると思うんです。今、例えば校長先生がおっしゃったみたいに、最近の情緒の子どもさんは一人にならないと、という子どもさんがたくさんいて、上北地方の小学校さんにお邪魔するとこの向かい側のオープンスペースに段ボールで作った段ボールハウスが5個も6個も並んでいるんです。そのくらい一人になるスペースが必要なんだなと実感するんですけども。上北地方の小学校さんの場合は、例えば1から6までの教室の他に、3つくらいのドアがちゃんと付いた小さい部屋があって、そこがクールダウンの部屋に使われているそうです。

(教育長)

適応指導教室の子ども達を配置するという考え方ででしょうか。

(秋元委員)

この中に足を運べるのであれば、対応できる訳です。それは私たち以外の力の学校に耐えられない子ども達の建物に入れば頭痛がする子とか頭が動かなくなる子ども達とか結構いますね。

(町長)

いろんな現場でのお話を聞いて、それが満たすことが可能かどうかというのは、考えている。この資料は、これはこれでやるという訳ではありませんが、このような考え方で一応お話をしていただければ、どういう風にしようかと。せっかくなのだから満たされるようにそれとしては校舎を一体化して、まずは皆様のご意見をお聞きして進めてまいりたいと思います。

(教育課長)

ありがとうございます。副町長から何かありますか。

(下田副町長)

今のところないです。

(秋元委員)

これだけ規模の大きい学校となりますと、管理職というか管理する立場から言うと、相当毎日気の遣い方が変わってくると思うんです。そこで随所に監視カメラ、それを1か所に集中して管理できる職員室の一角にでもですね、そういう防犯システムみたいなものがあればいいと思います。

(教育課長)

今は熱感知システムに切り替えているので、そのまま引き継ごうと思っています。ただ、カメラを付ければ付けたで、撮られる側のプライバシーみたいなものがいろいろあるみたいで。考えたいとは思いますが。

(町長)

本来はね、校舎の中に入って来たんだから撮られたって仕方ないと思うんだけど、日本人だもんね。ま、検討はして、管理できればそれでいいと思いますし。

(教育課長)

それでは、これをまとめて、後でご意見を伺う場所を設けたいと思います。以上をもちまして六戸町総合教育会議を終了します。